

主 文

本件上告を棄却する。

理 由

弁護人松村常太郎の上告趣意は、結局事実誤認、単なる訴訟法違反の主張で、刑訴四〇五条の上告理由に当たらない。（所論の日時に知事の認可を得たとしても、本件の犯行に違法性がなくなつたとは認めることを得ない。）また記録を精査しても同四―一条を適用すべきものとは認められない。

よつて同四―四条三八六条一項三号により主文のとおり決定する。

この決定は、裁判官全員一致の意見である。

昭和二八年二月二六日

最高裁判所第一小法廷

裁判長裁判官	真	野		毅
裁判官	斎	藤	悠	輔
裁判官	岩	松	三	郎
裁判官	入	江	俊	郎